



第 55 号

令和8年1月1日

泉南市 民生委員協議会
児童委員

会長 杉 本 昇

編 集

泉南市民児協広報部会



皆様には新しい年をご家族お揃いでお祝いされたこととお喜び申し上げます。昨年はいろいろとお世話になりました。本年もよろしくお願ひします。

昨年は、団塊の世代が75歳を迎えた年で、12月の一斉改選により41名の新しい仲間が交代されています。

民生委員児童委員は、住民に最も身近なところで活動し、さまざまな困りごとを抱え社会的に孤立している人に寄り添い、関係機関や地域住民とともに支えていくことが使命です。

平時はもとより災害時への備えには、日ごろの活動の延長線上にあると考え、



新年あけまして
おめでとうございます

会長 杉 本 昇

委員と関係機関及び社会福祉施設などと連携・協働することと、未就学児・児童・障がい児(者)など虐待・DVと福祉に弛みなく推し進めていくことが必要です。

前期限りで退任された皆さまには永らくの活動に感謝いたします。今まで受け継がれている泉南市民児協を、私たちが活動の礎として、少しでも『住んでよかった泉南市』と頑張ります。

委員の皆さまと一丸となり、新たな民児協組織へ良い体制で踏み出せるよう邁進していきたいと願ひ、これからご指導ご協力をお願いいたします。

感謝



泉南市民児協

役

員

紹

介

副会長
金田 茂有紀副会長
兼信達地区委員長
梶本 珠代

今期も引続き、副会長という重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

副会長としての役割をふまえ、さらに杉本会長をサポートすることはもとより、役員の皆さんと協力して諸問題に取り組んでまいります。

また、前期では思つように部会への出席ができず、他地区の委員の方々との関わりも持てませんでした。が、今期は、少しでも委員との連帯感を深められるよう努力してまいります。



この度2期目となる信達地区委員長と、新たに泉南市民児協副会長を兼任することとなりました。これまでの経験を活かして、誠意務めさせていただきます。

信達地区は、今期7名の方の改選を迎えて、総勢20名での大所帯となりました。当地区は、和泉砂川駅付近の4地区と山手の4地区で構成され、それぞれがとても特色のある活動環境です。各地区の特性を十二分に踏まえながら、委員の方々一人一人が、活動への負担を感じることもないよう配慮し、新たな3年間をみなさんと協力して進めたいと考えております。

副会長
兼雄信地区委員長
田中 年美

今期二足のわらじを履くことになりました。

片方は、副会長として金田副会長を中心に4人体制で会長を支えます。目標は、地区割りとは各部会の方針の見直しです。

地区委員長としては、地区のまとめ役として、各委員の負担を軽くすることと長く続けてもらえるように楽しく話しやすい雰囲気作りに努めます。

退任する時に民生委員を引き受けてよかったと思つてもらえるような活動を目指します。

副会長
兼主任児童委員代表
小林 ひかる

主任児童委員代表として9年が過ぎ、この度、杉本会長のもと副会長として参加することになりました。日頃より会長は、主任児童委員に理解を示され、民生

委員間での周知を考えておられます。

これまで、あまり知られていなかった主任児童委員活動を、広めていくのも役目の一つではと思えるようになりました。

執行部の一員として皆さんと協議し、よりよい民児協活動へと歩めたらと考えます。

主任児童委員としては、4名新任の方々が委嘱されました。彼女たちの頑張りや成長に大いに期待しています。

新家地区委員長
南 勝啓

毎日、花鳥風月を楽しみ、孫2人と娘夫婦そして妻と6人で賑やかに過ごしております。

先日、フレイル予防の講習を受けて、食育の大切さを学びました。少しでも人のお役にたちますように生きたいと思っております。

まだ75歳です、精一杯頑張りますので、ご協力をよろしくお願い致します。

一丘地区委員長
滝川 和雄

昨年の改選で女性が2名加わってくれました。今後見守り訪問の仕方、活動記録つけ方、その他民生委員児童委員の活動等を指導していくという大変な作業があります。今後の成長を視野に入れながら頑張っていきます。

砂川地区委員長
岸野 吉美

ベテラン先輩委員が退任され、自身が一番の古株になりました。9人中、5人が新任の砂川地区ですが「少数精鋭」一致団結で頑張ります。

地区のモットー「清く！正しく！たくましく！」

退任委員および新任委員名簿

令和7年12月1日

退任委員	新任委員	退任委員	新任委員
新家地区		雄信地区	
辻 二美代	大森 るり	樋口 知世	水尾美知恵
奥田美重子	中佐 秀子	居村 幸次	酒井 保助
奥田 浩一	南 眞由美	橋野 節子	内海 清子
田中 和代	前田 悦子	武輪 静	阪下ルリ子
豊田 保夫	林 孝一	石橋 英子	根無 敦美
中谷かつる	西浦佐代子	西 久美子	小田 重美
出口 耕治	西浦 安人	樽井地区	
杉中眞由美	小川 信子	春木 俊雄	森本 健二
鎌田登美子	末永みさお	彦野紀久子	城野加代子
一丘地区		牧野 彰一	城野智津子
成田 政彦	高嶋はるみ	鳴滝地区	
	山田 嘉子	数内 美智	中筋 一美
砂川地区		西信達地区	
菊地 敏男	阪口 好宏	赤井 孝子	亀岡 篤
北村 正晴	岡 清志	楠木みどり	則村 英子
竹島 早苗	山口由季恵	鈴木 康子	高橋 周子
中田 守		眞鍋 秀一	久保 嘉男
信達地区		渡邊 茂男	小林 尚司
柿花 英世	柿花 聡子	角 辻たず子	角辻美智枝
南 久治	宮本 由美	全地区	
大谷 静江	岡田 好子	西井美保子	南 眞由美
北川 貞生		片岡アサ子	井上 せつ
伊藤みよこ	松下 恵子	中村よしの	角谷みゆき
木下比津留	川口 美子	徳野やよい	上中由希子
藤原由美子	丸山 純子		
谷口サエ子	宮下 エミ		

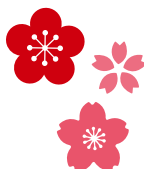
この度地区委員長になりましたが『働いて、働いて』



鳴滝地区委員長
辻野 豊美

しくお願いいたします。

新しい委員さんにも出会えて、これからの活動が楽しみです。



樽井地区委員長
中尾 ひとみ

新任委員を迎えてのスタートです。これまでの活動で得た知識を活かし、委員の皆さんと共通認識を深め、活動に努めてまいります。

『なんかは絶対言えませぬ。私、まだまだ子育て中ですので、他の委員や事務局の皆さまにはご迷惑をかけますが「受けたかぎり」の気持ちはあります。今、皆さま方もご存知のとおり民生委員だけでなく全てのボランティアが担い手不足ですから、少しでも活動しやすいように今までの制度で変えた方が良くと思う所は遠慮なく意見させていただきます。また、逆に私の至らない所は遠慮なく指摘してご指導の方よろしくお願いします。』



西信達地区委員長
居倉 順子

西信達地区におきましては、令和10年に義務教育学校「西信達学園」が開校します。地域の一員としてまた楽しみが増えました。新しい何かが始まることは、心がワクワクします。

令和7年

管外研修

令和7年10月29日(水)

大阪歴史博物館

ATCエイジレスセンター



3号車



2号車



1号車

地区だより

砂川地区

夢のような時間

令和4年に委嘱され、本稿を書いている今3年目を終えようとしています。

どのような活動をするのかも分からず不安なスタートでしたが、ひとり暮らし高齢者の見守り訪問、赤ちゃん訪問、おせち料理の配達などをさせていただきました。

また児童福祉部会の活動

では小学校訪問や中学校訪問、3月の中学校の卒業式見守りや、その他にも研修会や施設見学等の活動に参加し、今まで知らなかった地域のことを学ばせていた



できました。

当地区では11月末の一斉改選で9人の内、私を含め5人が退任するというところで、9月27日の月例会議の際に慰労をかねて懇親会を開催していただきました。

旧堺港で開催中のさくらサーカス鑑賞、割烹たからでの昼食と、夢のような時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。これからも皆様の一層のご活躍を祈念いたします。

北村 正晴

一丘地区

高齢者の見守り活動

私は、民生委員児童委員を6年前に引受け、一丘地区で活動してきました。

私が一丘区・自治会の区長、自治会長をしているので、委員を引き受けることになりました。

委員としてひとり暮らし高齢者の見守り訪問を月に1回してきました。一丘区では75歳以上のひとり暮らし高齢者が100人以上おられ、一人ひとりの健康と安全を確認することは重要なことです。少ない人員で



一丘団地

とても確認できません。一丘区の委員の方は良く頑張っていると思います。

自治会でも、高齢者の見守り活動以外に、シングルマザーの相談・訪問、住民の生活相談等をしてきました。私も78歳になり、民生委員の仕事を引き受ける年齢を超えましたので、令和7年11月に退任しました。これからは、多くの方に民生委員になってほしいです。

成田 政彦

鳴滝地区

私と民生委員児童委員

早いもので、名前だけで良いと言われて3年になります。

ひとり暮らし高齢者の見守り活動に始まり、地区委員会、専門部会などの定例活動。春にはお弁当のお届け、夏には熱中症注意のビラ配布、秋にはひとり暮らし高齢者カートの更新、冬にはインフルエンザ注意のビラ配布、年末にはおせち料理のお届けなど1年を通して

じて季節ごとの活動、日々の活動を手探りで少しずつ今日までできました。

そんな活動の中でも一番印象に残っていることがあります。地区定例会でのことです。私たち地区民生委員児童委員の中に女性消防団員の方がいます。その方の勧めで、「応急手当とAEDの使い方」の講習を受けました。心臓マッサージの人形を「トもしもしかめよかめさんよ」のリズムで押すこと。みんな一生懸命でした。きっと役に立つ時がくると思います。

新聖 郁子



信達地区

防災体験で学んだこと

梅雨明けの6月28日、信達地区は大阪市立阿倍野防災センター「タスカル」にて、防災研修を行いました。ここは「助かる力・助ける力」が学べる体験型防災学習施設です。

まず、高さ6メートルの巨大スクリーンに映される災害時のショートストーリーが、地震災害の怖さをリアルに感じさせてくれます。

さらに、減災への取り組みを家庭レベルで学んだら、模擬消火を体験したり、現実さながらの煙中避難をしたりと日常では体験できないことばかりです。

実寸大の家屋セットを使った津波映像では「早く・遠く・高く」避難する大切さ



を痛感しました。

最後は、起震装置と映像による震度7を体験。大きく揺れる台座の上で体を支えるバーにしがみついても、揺れで体もついていかれる怖さは私だけのものではありませんでした。

日頃の備えを考えるためにも、是非一度行かれてはいかがでしょうか。

木下 比津留



フォローアップ研修

新たな気持ちで

昨年の10月に民生委員児童委員フォローアップ研修を受講しました。

研修のテーマは「地域の最前線で自分たちの街を支える民生委員・児童委員に期待すること」で、まずは神戸学院大学の准教授、川本健太郎先生のお話を伺いました。

人生100年時代となり、高齢者の社会的孤立や引きこもりが増加しています。そうなると専門職の力だけでは限界があり、地域住民の「気づき」の力を活かすことが大切だと学びました。



そこで民生委員児童委員の日々の活動が重要となります。訪問等の活動していく上で、地域の様々な課題の「気づき」がきっかけとなり、公・共・私が協働で困難を乗り越えていく必要があるそうです。

その後、各グループで、「今私たちが直面する思いや悩みの共有と今後の活動に向けて」というテーマで意見の交換をしました。実践報告を通して、他の市町村の取り組みや課題を共有できたことも、非常に有意義で今後の活動に向けたヒントを得ることができました。

こうした学びを活かし、地域社会の一員として、より良い環境づくりに貢献していきたいと感じました。



川本健太郎准教授

出口 千寿美

部会だより

児童福祉部会

吃音を知り理解する

「きつおんでつながる会」田中実事務局長をお招きし、吃音講演をしていただきました。

皆さんは吃音を知っていますか？
出会ったことは？
どんな印象ですか？



私は、吃音という言葉しか知りませんでした。

今回、田中さんご自身の吃音になった経緯、症状、特徴などを紹介していただきました。症状は人それぞれで、知識のない私たちが対処できず誤解や差別を生んでしまい、それによって苦しむ方が多くいらっしゃることを知りました。

吃音のある方に対してできることは「言いたいことを使いたい言葉で話し終わるまで待つ」ことです。そして、「みんなと同じ、あたり前」に楽しく話すことのできる学校、社会環境を作らなければならないと思いました。このことはどんな人と話す時も聞く時にも大切なことだと思いました。

吉嶋 由美



子育て支援部会

「笑顔」はぐくむ

残暑厳しい9月の初め、泉南市の子育て支援事業の一つ、ひだまりの「赤ちゃん教室」に参加しました。

この日は5日間の日程の初日で「ベビーマッサージ＆ヨガ」の講座でした。

赤ちゃんの表情と温もりを感じながら講師のリードで楽しく、優しい親子の時間になりました。11組の参加中、パパ同伴が4組、赤ちゃんの抱っこを交代したり、あやしたりと汗だくの大奮闘、父親参加の子育てに「今どき」を感じました。

交流の場では、我が子のチャームポイントは？の問いにママたちが発表、思わず皆でうなずき、拍手拍手でした。

子育てには誰しも不安が伴うもの、だからこそこんなほっこりした交流の場が必要だと思いました。

最後に「この教室が心地良い場になるように」と、



ひだまりの先生からのお話で閉じられました。

微力ながら子育ての先輩として応援できたかな？

樋口 知世

地域福祉部会

民生委員を経験して！

民生委員児童委員を委嘱されてから早いもので3年経ちました。

最初は正直不安もありましたが、定例会・地域福祉部会・ケア会議等の会議や小学校の「遊び広場」等すべてが新鮮でした。退職後10年余り経っていたので、またこうして新たな出会いに感謝しています。

地域福祉部会では、いろいろな体験をさせていただき

ました。地震や雨等の自然災害が多くなった今、災害に備えた委員活動の向き合い方や平常時の備えの重要性を確認しました。

防災研修では、自助・互助の重要性、救急車が到達するまでの心臓マッサージやAEDでの適切な処置の大切さをも実感しました。

また堺市総合防災センターでは火災や地震への対処法等、なかなか経験できない多くを学びました。しかし、まだ技術の習得が未熟なので機会があれば積極的に参加して地域の活動の中で生かしたいです。

中谷 かづゑ



堺市総合防災センター提供

主任児童委員

充実した12年間

12年前主任児童委員に委嘱され、暗中模索の中、行政・各関係機関の助言をいただきながら、さまざまな事案に取り組んできました。

「子育てサロン」「赤ちゃん教室」では、乳幼児と共に遊び、屈託のない笑顔で我々に身を委ねる姿に愛しさを感じたものでした。

また守られるべき子どもの人権についても、多く学びました。子どもには「生きる・守られる・育つ・参加する」権利があります。



泉南市はこれらの保障ができる『子ども権利条例』を大阪府内で初めて2012年に制定しました。

また、自分だけで悩まず助けを求めて、大人と同等に意見を言い、申し立てができる『子ども権利救済委員会』が2025年4月1日に発足し、7月15日から相談開始になりました。

全ての子どもが、平等に愛され幸せに暮らしていける！そんな子どもにやさしい町、泉南市になってほしいと切に願っています。

主任児童委員全員と試行錯誤しながら懸命に走ってきた日々の活動は、悔いのない充実したものでした。退任に際し、関わっていただいた方々に感謝申し上げます。

片岡 アサ子

企画部会

福祉用具の

進化に驚き！

まだ半袖で過ごせるなど思っていたら、あつという



間に朝晩涼しくなってきた10月29日に、泉南市民生委員児童委員の管外研修に参加しました。

まず大阪歴史博物館に行きました。古代から中世、近代の大阪の文化や人々の暮らしぶりを見学しました。

隣のNHK大阪放送会館では、朝ドラの話に花が咲きました。

次にATCエイジレスセンターを見学しました。実際に電動車いすに乗って運転をしたり、スロープでは

車いすを軽く押せる体験をして、介助者の負担が軽減されるのを感じました。

私には介護する親はもういませんが、自分の近い将来に役立つ情報をたくさん仕入れてきました。こんなこともできないと悲観して過ごすより、こつこつというサポートがあれば豊かに過ごせるなと思いました。

中佐 淑恵

広報部会

研修 びわ湖方面へ

11月10日、16名の参加で実施しました。

まず、石山詣で有名な奈良時代創建の大本山石山寺へ。

瀬田川に面した東大門をくぐり色づき始めた木々の参道を通り、急な石段を上ると巨大な岩肌が現れました。石灰石と言われ、寺名の由来になっているそうです。後方には多宝塔がそびえ、圧巻の眺めでした。本堂に進み如意輪観音や不動明王など立派な仏様をお参

りました。月見堂や経堂があるのも印象的でした。

次に、近江八幡市内をボランティアガイドさんの案内で散策しました。

450年前に豊臣秀次が築いた城下町として発展し、古い町並みは重要伝統的建造物保護地区となっています。近江商人の守護神として信仰された日牟禮八幡宮にも参拝しました。

数々の歴史遺産を拝見し、神仙に心洗われる研修でした。

原尾 菜穂



お元気ですか！先輩

令和8年新年明けましておめでとうございます。

民生委員児童委員の職を辞して3年を経過し、現在は泉南市社会福祉協議会の会長を仰せつかっています。

会長としての仕事は毎週火曜日の午後から社協の各種業務の進捗の確認やそれに伴う決済業務などがあります。また、不定期に各種審議会の委員として泉南市の現状と今後どうあるべきかについて意見を述べたりしています。

今年度は大阪府下42市町村の社会福祉協議会連合会の副会長、及び堺市以南の連合会の会長の重職も任されています。

私事としては毎朝5時頃に起床し、食後にラジオ体操で体をほぐしています。公務のない時は庭の雑草を刈ったりしていますが、寄る年波には勝てず体調が思わしくない時もあり、病院に行ったりしながらでも何とかやっています。今年6月の任期末までは無理せず頑張っていきたいと思っています。今後とも宜しく。



公用車贈呈式での上山会長（左）

樽井地区 上山 忠

おめでとうございます

全国民生委員児童委員連合会会長表彰
(民生委員児童委員功労者表彰)

市民表彰

奥田 浩一（新家）

片岡

アサ子（砂川）

藤澤 和美（樽井）
辻野 豊美（鳴滝）

中尾

ひとみ（樽井）
大家 清美（西信達）



史跡 三本松

泉南再発見



種河神社の主な御祭神は丹生大神、素戔鳴大神、龍王です。

天文14年（1545）天然痘が流行した際、神社での祈禱した護符の効験により病勢が治まりました。

その後、二合荘内（新家）で種々の争論が起こり、和睦を図ろうと社殿を建立し各所の神社を合祀して新家地区の融和の象徴となりました。

2月節分の日には湯神楽神事が催行され、春には美しい桜が人々の心を和ませてくれます。

また、7月27日は祇園祭で賑います。

是非、昔懐かしい情景にふれてみて下さい。

編集後記

今回の「民児協せんなん55号」が現状メンバーでの最後の編集・校正作業となり、次号からは、一斉改選後の新体制で作成していきます。

より良い紙面にしようと思ひなで考え、話し合い会議時間が長時間になることもありました。

「地区だより」を8地区から4地区に変更して、特集記事のボリュームアップ等にご利用しました。読者のみなさんは気が付かれたでしょうか？

広報部会では各種研修会へ参加し、スキルアップを目指し努力していますが、読者のみなさんの声があまり聞こえてきません。

読み手側からの貴重な意見・要望・感想を是非、近くの広報部員までお伝えください。お待ちしています。

眞鍋 秀一